

平成29年度大阪府立池田北高等学校 第1回学校協議会記録 (概要)

1 日 時： 平成29年6月21日（金） 午前10時～午前11時20分

2 場 所： 大阪府立池田北高等学校 校長室

3 協議会委員：

① 協議会委員（委嘱委員）

〈敬称略〉

会 長	木村 寛仁	大阪音楽大学 音楽学部 教授	学識経験者
会長代行	西留 清信	池田市立ほそごう学園 学園長	学識経験者
	西村 章	池田市立児童館 館長	地域の住民
	野村 剛志	大阪府立池田北高等学校同窓会会長 (欠)	その他関係者
	堀田 守	阪急田園バス株式会社 伏尾台支社長	その他関係者
	和田 直美	大阪府立池田北高等学校 PTA 会長	保護者代表

② 事務局員（校内出席者）

校 長	若林 智子	事 務 長	東筋 和裕
教頭(事務局長)	吉岡 靖人	首 席	山本 進

※記録：首席

4 内 容：

配付資料の確認 / 学校協議会開会

- (1) 学校長あいさつ
- (2) 協議会委員並びに事務局員 自己紹介
- (3) 協議・連絡

- ① 平成28年度学校経営計画及び学校評価について
- ② 平成29年度学校経営計画について
- ③ 保護者からの意見調査の現状報告について
- ④ 今後の日程等

5 協 議：

① 平成28年度学校経営計画及び学校評価について

▽校長より、昨年度第3回の学校協議会でいただいたご意見をまとめ加筆した完成版であることを説明した。

② 平成29年度学校教育計画について

▽校長より、3年生92名の在籍だけとなった閉校年度のこれまでの様子を説明した。

・学校行事を含む『明るく元気な池北ファイナル』の取組み

体育祭（6/3 実施済み）、ラーメン記念博物館校外学習（6/16 新規）

七夕飾り（継続）、猪名川花火大会の屋上からの見学（8/19 新規）、

文化祭（9/9）、NSC との新しい進路講演会（9/26 新規）、

人権講演会（11月 講師：谷口 真由美様）、音楽コース関連事業（継続）

池田市と伏尾台創生会議協力のラストイヤーDVD 制作など（年間 新規）

③メント手帳の取組み（新規）など検討項目も含めて説明をした。

また、物品譲渡など閉校事務についても、校長より話題として情報提供をした。

▽校長から提供された盛りだくさんの情報をもとに、意見交換をした。

（委員より）

西留委員は、6月3日（土）開催の体育祭に参加してくれていたもので、当日の感想等を含めたご意見をいただいた。今年度は、西留委員のほそごう学園細郷中学校の吹奏楽部の演奏に合わせたラジオ体操という新企画にもご協力いただいた。

- ・生徒全体の数は少なくなっているが、体育祭当日は生徒たちの弾ける笑顔が見られほほえましかった。文化祭やフレンドリーコンサートなど、さらに連携していきたい。

- ・生徒目線でファイナルを進めているところが良い。地域とこれだけ連携しているのだから、学校経営計画にも「地域との連携」という言葉を入れ込んで、もよかったのではないかな。

- ・新しい企画を含め、行事等の時は臨時便を出して応援したいと考えている。やんちゃな生徒の様子も、最近はおさまっているが、時々バス車内で、大声でしゃべる生徒がいる。一方、敬語で丁寧にバス社員に質問する生徒も見かける。

 - －阪急バスに乗車する一般客ではあるが、スクールバスのような感覚で生徒は乗車してしまっているところを指導していく

- ・生徒は、生徒なりに意外とよく考えて、話し合っている。生徒たちで何かしたいと思っていて、協力してあげたい。

 - －生徒の思いを形にするよう取り組んでいる。体育祭前に、「最後だから好き勝手ができる」といった雰囲気を見せる生徒も見受けられたので、学年集会を開き、校長から直接指導する機会を持った。概ね、その思いは伝わったようだ。

- ・閉校自体あまりない経験だが、地域や卒業生などいろんな大人とのかかわりが貴重な体験となる。一方、彼らにとっては「閉校」ではなく、「高校生活最後の…」といった思いのほうが強いのではないかな。辛口なコメントであるが、最後だから特別な視線で見えてしまいがちではあるが、日常の学習、進路、規律ある生活を、大事にしてほしい。

 - －中学校からの資料から類推すると、生徒たちは今一番、学校生活に取り組み、充実していると言える。その意味で、他校と変わらない普段の授業や学校生活、進路指導を大事にしていきたい。

- ・やはり、地域の力は大きい。協力をあおげば、力を貸してくれると思う。

③ 保護者からの意見調査の現状報告について

- ・現在のところ、学校協議会に寄せられた意見はなし

④ 今後の日程等

○次回学校協議会日程 10月31日（火）午前10時開会